



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月10日

上場会社名 東洋紡株式会社

上場取引所 東

コード番号 3101 URL <https://www.toyobo.co.jp/ir/>

代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 竹内 郁夫

問合せ先責任者 （役職名） 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 （氏名） 石丸 園子 TEL 06-6348-3044

半期報告書提出予定日 2025年11月13日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	204,016	△2.5	11,790	70.1	10,058	216.3	5,732	—
2025年3月期中間期	209,161	4.9	6,931	193.5	3,180	206.5	114	△94.3

（注）包括利益 2026年3月期中間期 8,041百万円（298.4%） 2025年3月期中間期 2,018百万円（△51.4%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	64.98	—
2025年3月期中間期	1.29	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	609,570	234,773	32.6	2,253.10
2025年3月期	617,799	232,044	31.6	2,215.11

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 198,825百万円 2025年3月期 195,312百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	40.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	425,000	0.7	23,000	38.1	17,500	65.2	6,500	224.5	73.69

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規　－　社（社名）、除外　－　社（社名）

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	89,048,792株	2025年3月期	89,048,792株
-------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年3月期中間期	803,428株	2025年3月期	876,140株
-------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（中間期）

2026年3月期中間期	88,201,926株	2025年3月期中間期	88,129,699株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
3. 補足情報	11
(1) セグメント別売上・営業利益	11
(2) その他参考指標	12

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、米国では、相互関税政策による景気後退が懸念されたものの、個人消費が景気を下支えし、影響は限定的にとどまりました。中国では、長引く不動産不況や消費低迷により内需が振るわず、景気停滞が続きました。国内においては、米国の相互関税政策の影響を受けるも、所得環境の改善に加え、設備投資の拡大やインバウンド需要により、景気は底堅く推移しました。今後は、米国の相互関税政策や中国経済の景気動向、地政学的リスクが、当社の事業環境に影響を及ぼすことが予想されます。

こうした事業環境のもと、液晶偏光子保護フィルム“コスモシャインSRF”、セラミックコンデンサ用離型フィルムは堅調に推移しました。加えて、包装用フィルム事業において、新設備の生産性の改善を進めた結果、収益が改善しました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は前年同期比51億円（2.5%）減の2,040億円となり、営業利益は同49億円（70.1%）増の118億円、経常利益は同69億円（216.3%）増の101億円、親会社株主に帰属する中間純利益は、同56億円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益1億円）増の57億円となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりです。

（フィルム）

包装用フィルム事業では、食品価格高騰による買い控えの影響により、荷動きが悪化したものの、新設備の生産性の改善を進めた結果、収益が改善しました。工業用フィルム事業では、セラミックコンデンサ用離型フィルムは、販売が拡大しました。液晶偏光子保護フィルム“コスモシャインSRF”は強い需要に支えられ、堅調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比37億円（4.5%）増の865億円、営業利益は同56億円（186.5%）増の86億円となりました。

（ライフサイエンス）

バイオ事業では、診断薬用原料酵素の需要は堅調に推移しましたが、生産性の改善遅れや、診断薬用試薬などの販売が低調で、収益が悪化しました。メディカル事業では、新工場の立上げに遅れはあるものの、人工腎臓用中空糸膜の販売は堅調に推移しました。医薬品製造受託事業では、製品価格の改定を進めたことにより、収益性が改善しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比7億円（3.9%）減の165億円となり、営業利益は同8億円（83.6%）減の1億円となりました。

（環境・機能材）

樹脂・ケミカル事業では、エンジニアリングプラスチックは、海外向けの自動車用途の販売は低調でしたが、製品価格の改定が進みました。工業用接着剤“バイロン”は、欧米向け塗料・接着用途や東南アジア向け電子材料用途の販売が増えました。

環境・ファイバー事業では、環境ソリューションは、EV市場減速の影響により、リチウムイオン電池セパレータ製造工程で使用されるVOC回収装置の出荷が減少しました。不織布マテリアルは、国内生産体制の見直しが進み、収益性が改善しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比45億円（8.2%）減の507億円、営業利益は同3億円（9.0%）減の31億円となりました。

（機能繊維・商事）

衣料繊維事業では、中東向け特化生地は、強い需要により販売を伸ばしました。スポーツ用途は、国内生産拠点の集約を進めました。エアバッグ用基布事業では、日系顧客のアジアでの減産影響を受けました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比35億円（7.4%）減の444億円、営業利益は同1億円（52.5%）増の2億円となりました。

（不動産、その他）

不動産、エンジニアリング、情報処理サービス、物流サービス等の各インフラ事業は、それぞれ概ね計画どおりに推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比2億円（2.6%）減の58億円、営業利益は同1億円（7.0%）増の12億円となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前年度末比82億円（1.3%）減の6,096億円となりました。これは主として原材料及び貯蔵品が増加した一方で、受取手形及び売掛金が減少したことによります。

負債は、前年度末比110億円（2.8%）減の3,748億円となりました。これは主として支払手形及び買掛金や借入金が増加したことによります。

純資産は、利益剰余金の増加や、為替換算調整勘定などの増加により前年度末比27億円（1.2%）増の2,348億円となりました。

キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、275億円の収入となりました。主な内容は、減価償却費118億円、税金等調整前中間純利益70億円および運転資本の減少による資金の増加17億円です。

当中間連結会計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、171億円の支出となりました。主な内容は、有形及び無形固定資産の取得による支出172億円です。

当中間連結会計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、130億円の支出となりました。主な内容は、社債の償還による支出100億円、長期借入金の返済による支出63億円および配当金の支払額35億円と、社債の発行による収入100億円です。

この結果、当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前年度末比20億円減の255億円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期の連結業績予想については、最近の動向を踏まえ、2025年5月12日に公表しました通期の連結業績予想を修正しました。詳細は本日（2025年11月10日）公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,581	26,044
受取手形及び売掛金	92,545	79,341
契約資産	207	233
電子記録債権	13,400	13,276
商品及び製品	65,055	66,815
仕掛品	22,023	22,987
原材料及び貯蔵品	31,904	36,195
その他	14,109	11,124
貸倒引当金	△330	△356
流動資産合計	267,495	255,658
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	73,763	79,711
機械装置及び運搬具（純額）	63,720	65,960
土地	90,203	92,743
建設仮勘定	55,958	48,523
その他（純額）	12,875	13,416
有形固定資産合計	296,518	300,353
無形固定資産	5,032	4,921
投資その他の資産		
その他	48,821	48,709
貸倒引当金	△68	△70
投資その他の資産合計	48,754	48,638
固定資産合計	350,304	353,912
資産合計	617,799	609,570

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	48,389	43,503
電子記録債務	3,436	2,754
短期借入金	53,043	50,728
コマーシャル・ペーパー	5,000	5,000
1年内償還予定の社債	10,000	—
1年内返済予定の長期借入金	11,684	10,091
引当金	5,306	5,793
その他	23,463	23,084
流動負債合計	160,320	140,952
固定負債		
社債	67,000	77,000
長期借入金	114,343	112,748
再評価に係る繰延税金負債	18,990	18,956
役員退職慰労引当金	209	168
退職給付に係る負債	14,122	14,088
その他	10,770	10,885
固定負債合計	225,435	233,845
負債合計	385,755	374,797
純資産の部		
株主資本		
資本金	51,730	51,730
資本剰余金	32,661	32,649
利益剰余金	68,967	71,245
自己株式	△925	△844
株主資本合計	152,433	154,780
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,857	2,006
繰延ヘッジ損益	12	△6
土地再評価差額金	40,174	40,101
為替換算調整勘定	△603	343
退職給付に係る調整累計額	1,439	1,601
その他の包括利益累計額合計	42,879	44,045
非支配株主持分	36,732	35,948
純資産合計	232,044	234,773
負債純資産合計	617,799	609,570

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
売上高	209,161	204,016
売上原価	161,892	153,320
売上総利益	47,269	50,696
販売費及び一般管理費	40,338	38,905
営業利益	6,931	11,790
営業外収益		
受取補償金	480	13
その他	1,210	1,447
営業外収益合計	1,690	1,460
営業外費用		
支払利息	917	1,391
その他	4,524	1,801
営業外費用合計	5,441	3,192
経常利益	3,180	10,058
特別利益		
関係会社株式売却益	1,489	—
投資有価証券売却益	78	—
特別利益合計	1,567	—
特別損失		
減損損失	950	—
固定資産処分損	1,357	987
固定資産売却損	125	—
割増退職金	—	1,099
退職給付制度改定損	—	939
特別損失合計	2,433	3,025
税金等調整前中間純利益	2,314	7,034
法人税等	165	436
中間純利益	2,149	6,598
非支配株主に帰属する中間純利益	2,035	866
親会社株主に帰属する中間純利益	114	5,732

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
中間純利益	2,149	6,598
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	183	149
繰延ヘッジ損益	△116	19
為替換算調整勘定	△1,008	1,457
退職給付に係る調整額	125	162
持分法適用会社に対する持分相当額	684	△344
その他の包括利益合計	△131	1,443
中間包括利益	2,018	8,041
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	162	6,971
非支配株主に係る中間包括利益	1,856	1,070

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,314	7,034
減価償却費	11,178	11,839
支払利息	917	1,391
売上債権の増減額 (△は増加)	2,912	14,149
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△259	△6,245
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,020	△6,160
その他	6,113	6,113
小計	20,156	28,121
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△3,056	△593
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,100	27,528
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△24,585	△17,248
その他	246	166
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,339	△17,082
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△19,790	△2,354
長期借入れによる収入	30,600	3,036
長期借入金の返済による支出	△5,307	△6,344
社債の発行による収入	17,000	10,000
社債の償還による支出	△15,000	△10,000
利息の支払額	△864	△1,347
配当金の支払額	△3,519	△3,511
その他	△1,844	△2,458
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,277	△12,978
現金及び現金同等物に係る換算差額	△261	565
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,223	△1,967
現金及び現金同等物の期首残高	33,310	27,427
現金及び現金同等物の中間期末残高	27,087	25,459

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

Ⅰ 前中間連結会計期間（自2024年4月1日 至2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	フィルム	ライフサイ エンス	環境・機能 材	機能繊維・ 商事	不動産	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	82,813	17,202	55,233	47,949	2,059	205,257	3,903	209,161	—	209,161
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,189	53	4,254	573	581	6,650	6,075	12,724	△12,724	—
計	84,002	17,255	59,487	48,522	2,641	211,907	9,978	221,885	△12,724	209,161
セグメント利益	3,014	905	3,359	108	889	8,275	272	8,547	△1,616	6,931

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物・機械等の設計・施工、情報処理サービス、物流サービス等の事業を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△1,616百万円には、セグメント間取引消去271百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,887百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究に係る費用です。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「フィルム」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、前中間連結会計期間においては950百万円です。

Ⅱ 当中間連結会計期間（自2025年4月1日 至2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	フィルム	ライフサイ エンス	環境・機能 材	機能繊維・ 商事	不動産	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	86,519	16,538	50,728	44,424	2,238	200,448	3,569	204,016	—	204,016
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	480	89	4,185	672	576	6,003	6,075	12,077	△12,077	—
計	86,999	16,628	54,913	45,096	2,815	206,450	9,643	216,094	△12,077	204,016
セグメント利益	8,635	149	3,057	165	979	12,985	264	13,249	△1,459	11,790

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物・機械等の設計・施工、情報処理サービス、物流サービス等の事業を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△1,459百万円には、セグメント間取引消去122百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,581百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究に係る費用です。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) セグメント別売上・営業利益

（注）当連結会計年度における下半期及び年度の数値は、当第2四半期（中間期）決算発表時点での予想数値です。

（単位：億円）

		売上高				営業利益		
		前連結 会計年度	当連結 会計年度	対前年 増減	増減%	前連結 会計年度	当連結 会計年度	対前年 増減
		自2024. 4. 1 至2025. 3. 31	自2025. 4. 1 至2026. 3. 31			自2024. 4. 1 至2025. 3. 31	自2025. 4. 1 至2026. 3. 31	
フィルム	1 Q	421	446	+25	+5.9%	15	40	+25
	2 Q	407	419	+12	+3.0%	15	46	+31
	上	828	865	+37	+4.5%	30	86	+56
	下	840	845	+5	+0.5%	39	34	△5
	年度	1,668	1,710	+42	+2.5%	69	120	+51
ライフサイエンス	1 Q	81	80	△0	△0.6%	4	2	△2
	2 Q	91	85	△6	△6.8%	5	△0	△5
	上	172	165	△7	△3.9%	9	1	△8
	下	171	205	+33	+19.4%	11	24	+12
	年度	343	370	+27	+7.7%	20	25	+5
環境・機能材	1 Q	281	254	△26	△9.4%	13	15	+2
	2 Q	272	253	△19	△6.9%	21	16	△5
	上	552	507	△45	△8.2%	34	31	△3
	下	556	603	+47	+8.5%	46	56	+10
	年度	1,108	1,110	+2	+0.2%	80	87	+7
機能繊維・商事	1 Q	240	219	△21	△8.8%	2	1	△1
	2 Q	239	225	△14	△5.8%	△1	1	+2
	上	479	444	△35	△7.4%	1	2	+1
	下	501	496	△5	△1.1%	4	9	+5
	年度	981	940	△41	△4.1%	5	11	+6
不動産・その他	1 Q	29	30	+1	+2.5%	5	5	+1
	2 Q	31	28	△2	△7.4%	7	7	+0
	上	60	58	△2	△2.6%	12	12	+1
	下	60	62	+2	+2.9%	14	10	△4
	年度	120	120	+0	+0.2%	26	22	△4
消去又は全社	1 Q					△7	△7	+1
	2 Q					△9	△8	+1
	上					△16	△15	+2
	下					△17	△20	△3
	年度					△33	△35	△2
合計	1 Q	1,052	1,029	△23	△2.2%	31	56	+25
	2 Q	1,040	1,011	△29	△2.8%	38	62	+24
	上	2,092	2,040	△51	△2.5%	69	118	+49
	下	2,129	2,210	+81	+3.8%	97	112	+15
	年度	4,220	4,250	+30	+0.7%	167	230	+63

(2) その他参考指標

1. 設備投資額・減価償却費

(単位：億円)

	設 備 投 資 額	減 価 償 却 費
2023年3月期	427	190
2024年3月期	616	198
2025年3月期	432	227
2026年3月期中間期	160	118

2. 有利子負債残高・金融収支

(単位：億円)

	有利子負債残高	金 融 収 支
2023年3月期	2,294	△9
2024年3月期	2,492	△7
2025年3月期	2,679	△16
2026年3月期中間期	2,624	△10

3. 研究開発費

(単位：億円)

	研 究 開 発 費
2023年3月期	141
2024年3月期	153
2025年3月期	143
2026年3月期中間期	68

4. 従業員数

(単位：人)

	従 業 員 数
2023年3月期	10,885
2024年3月期	10,668
2025年3月期	9,976
2026年3月期中間期	9,865